

西南学院小学校 学校長メッセージ

「学校通信 Wings 2021年4月号」

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

ヨハネによる福音書 第15章16～17節

1年生のみなさん入学おめでとうございます。在校生のみなさん進級おめでとうございます。

73名の卒業生を送り出し、72名の新入生と1名の転入生を迎えて2021年度がスタートしました。今年は桜の開花が早まる条件が揃ったそうで例年よりずいぶん早くに桜は散ってしまいましたが、あちこちで色とりどりの花々が春風に揺れています。昨年は全国一斉休校という中で新年度を迎えましたが、今年も従来通りまでにはいかないものの、始業式と入学式を行うことができることに感謝したいと思います。新型コロナウイルス感染症による影響はまだ当分の間続きそうで、皆さまにはご不自由をおかけしますが、厳しい状況のなかでも子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、ご家庭と手を携えながら職員一丸となって進んでいく所存です。どうか今年度もよろしくお祈りいたします。

ところで、少し前のことになりますが、ある1年生が1年間を振り返って感じたことを次のように作文に書きました。

わたしが一年生になってできるようになったことは、かんがえる力がついたことです。いままでは、どうしてそうなるのか、なぜそうなるのかをあまりかんがえたことがありませんでした。でも、こくごやさんすうのたくさんの方の文しょうもんたいをとくようになってから、かんがえる力がついたと思います。かんがえることはむずかしいけどたのしいです。おともだちのいけんをきいて、またあたらしいかんがえがふえていきます。一人ずつかんがえかたはちがうけど、みんなではなしあうとすごいいけんが生まれます。グループではなしあうことは大せつだとおもいます。かんがえることは、たのしいことだと一年生になってはじめてしりました。これからもいろいろなことをかんがえて、すばらしいいけんをつくっていきたいです。(下線は宮崎)

短い作文ですが、学習することの意義と、お互いに学びあうことの大切さ(個々の学びでは得られない豊かな学びが得られるということ)がよく伝わってきます。この子のように、子どもたちが、友だちとの交流を通して自分の考えをつくりあげ「わたしはこう思います。こう考えます。」と表現できるようになってほしいと願っています。今年度1学期中には、全児童へタブレット端末を配付する予定で準備を進めていますが、個々の学習だけでなく、交流活動での有効なツールにもなるようにしていかなければならないと考えています。関わりを通して学びあい高めあっていくことが、学校における教育活動の要ではないでしょうか。

文責 宮崎 隆一